OUKA
Osaka University Knowledge Archive

Title	端局設置のための申請手続
Author(s)	
Citation	大阪大学大型計算機センターニュース. 1990, 76, p. 77-87
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/65871
rights	
Note	

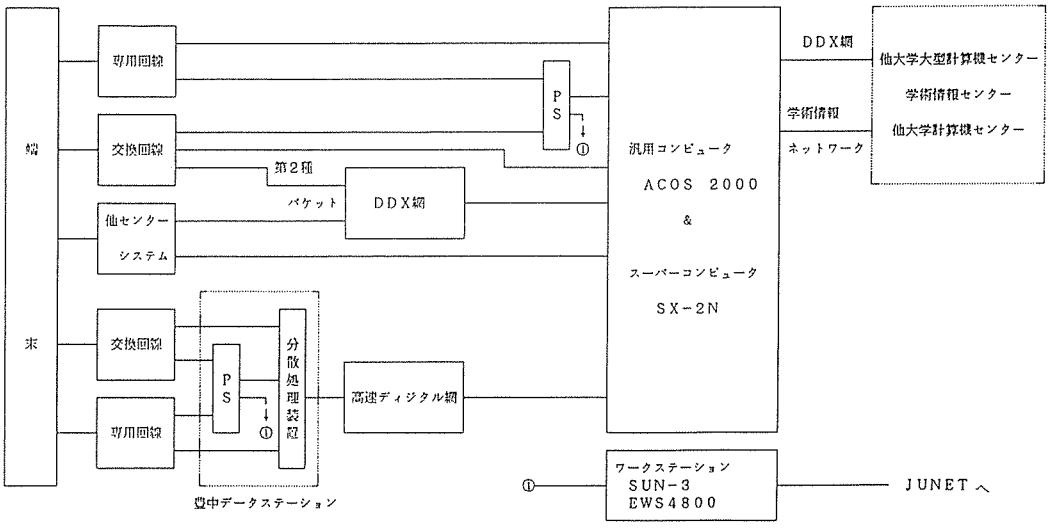
Osaka University Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

Osaka University

端局設置のための申請手続

利用者が、通信回線を使用することでセンター外の研究室等の端末機からセンターのシステムに接続できます。その接続形態は、オンラインシステム構成図（下図）のようになります。



大阪大学大型計算機センターオンラインシステム構成図

なお、端末機種によってセンターのシステムと接続できない場合がありますので、端末機器の購入を決定する前に業務掛と相談のうえ端局設置申請書を提出してください。

センターでサービスしている回線の種類には、専用回線、交換回線、ＮＴＴのパケット交換サービスがあり、専用回線、交換回線による端局設置のための申請手続は、次のようになります。

○専用回線について

専用回線は、構内専用回線、ＮＴＴ特定通信回線の２種類のものがあり、その回線速度は、次のとおりです。

回　線　名	回　線　速　度
構内専用回線	1, 200, 2, 400, 9, 600 bps
ＮＴＴ特定通信回線	1, 200, 2, 400, 4, 800, 9, 600 bps

しかしながら、端末機器又は、モデム（変復調装置）によって、回線速度は､変わってきます。

専用回線端局を設置し、センターを利用しようとする場合には、申請者（設置者）即ち当該研究機関の長（大阪大学内の場合は部局長、大阪大学外の場合は学長）は、端末機器１台ごとに、別紙「端局設置申請書（専用回線)」を利用者受付へ提出してください。申請が承認されますと、約１週間後に申請者（設置者）へ承認書を送付します。承認後、端局責任者は、機器設

置、回線工事、モデムの調整をしなくてはなりません。そのために、次のような各種の手続をしなければならないので、下記の必要書類を利用者受付へ提出してください。

(1) 回線工事、モデムの調整の工事日程が決まれば「回線工事連絡届」

(2) 回線工事、モデムの調整及び機器現地調整等のすべての工事が完了した場合には、「端局設置工事完了届」

(3) 端局動作確認テストの結果が、良好のときは「端局開設届」

上記(3)の届で端局サービスが開始されることになります。

なお、学外の申請者（設置者）が、ＮＴＴ特定通信回線に直接加入される場合には、上記の書類以外に専用回線使用契約申込書又は、第１種パケット交換サービス申込書（ＮＴＴ）等が必要です。

すでに設置している端局について変更事項が生じた場合、次のような各種の手続をしなければならないので、下記の必要書類を利用者受付へ提出してください。

(1) 端局責任者・連絡責任者を変更する場合、「端局責任者・連絡責任者変更届」

(2) 端局設置時に承認されている事項を変更する場合、「端局設置申請承認事項変更協議書」

(3) 端局を廃止しようとする場合、「端局廃止協議書」

○交換回線について

交換回線は、構内電話回線、公衆電話回線、第２種パケット網があり、利用者は、センター外の電話又は、ＮＣＵ（網制御装置）とモデムを使用して、センターの交換回線用電話（内線、外線）へ接続することにより使用できます。この方法で、交換回線端局を設置し、センターを利用しようとする場合には、利用者（申請者）が、別紙「端局設置申請書（交換回線）」を利用者受付へ提出してください。申請が承認されますと、約１週間後に申請者宛に承認書を送付します。承認後、申請者は、端末機器の調整・モデム等の設置工事を行い、回線工事、モデム及びＮＣＵ（網制御装置）の設置が完了すればいつからでもセンターを利用できます。

上述の第２種パケット交換網は、ＮＴＴでは、ＤＤＸ－tp（第２種パケット交換サービス）と言い、ＮＴＴのパケット交換網（ＤＤＸ）に電話で直接加入する場合、ＤＤＸ－tpとなります。第２種パケット交換サービスは、ＮＴＴの電話網からパケット交換網を経由してセンターへ接続できます。通信料金は、距離によって従来の交換回線よりも安く、従量制になっています。しかも使いやすさは専用回線並です。

注意事項

モデム及びＮＣＵ（網制御装置）によってセンターのシステムと接続できない場合がありますので、モデム及びＮＣＵの購入を決定する前に業務掛と相談してください。

（注）端局設置に関する諸手続の詳細は、センターの刊行物である「端局設置に関する説明書」を御覧ください。

（共同利用掛）

別紙見本

端局設置申請書（交換回線）

（文書番号）

平成　　年　　月　　日

大阪大学大型計算機センター長　殿

申請者　（所属機関名）

（職　　名）

（フ リ ガ ナ）

（氏　　名）　　㊞

大阪大学大型計算機センターの利用に関する暫定措置を定める規程第10条1項の規定により、交換回線による端局の設置について申請いたします。

連絡責任者	所属学部学科等			
	職名		フリガナ	
			氏名	
	連絡先			
端局機器等	設置場所			
		電話（　　）（　　）－（　　）内線（　　）		
	交換回線種別	□加入電話（構内電話も含む）□第２種パケット交換		
	端局機器	会社名　　機器名		
	音響カプラ	会社名　　機器名		
	回線速度	（　　）bps		
	伝送制御手順	□レベル０ □レベル２A □レベル２B □その他（　　）		
	利用開始年月日	年　　月　　日		
	ＮＣＵ	会社名　　機器名		
	モデム	会社名　　機器名		

センター記入欄

受付	平成　　年　　月　　日	受付番号		受付者	

別紙見本

端局設置申請書（専用回線）

（文書番号）

平成　　年　　月　　日

大阪大学大型計算機センター長　殿

申請者（設置者）　（所属機関名）
（職　　名）
（氏　　名）　　㊞

大阪大学大型計算機センターの利用に関する暫定措置を定める規程第10条1項の規定により、専用回線による端局の設置について申請いたします。

端局責任者	所属学部学科等			
	職名		フリガナ	
			氏名	
	連絡先	電話（　　）（　　）－（　　）内線（　　）		
連絡責任者	所属学部学科等			
	職名		フリガナ	
			氏名	
	連絡先	電話（　　）（　　）－（　　）内線（　　）		
端局機器等	設置場所			
		電話（　　）（　　）－（　　）内線（　　）		
	専用回線種別	□専用線（構内回線も含む）　□第1種パケット交換		
	利用形態	□TSS（CRBSも含む）　□RBS		
	回線速度	（　　）bps/□2線式　□4線式		
	キーボード使用文字	□英数字　□APL文字　□カナ文字　□英小文字　□日本語		
	通信方式	□全二重　□半二重		
	図形処理	□有　□無		
	フロー制御	□有　□無		
	伝送制御手順	□レベル0　□レベル2A　□レベル2B　□その他（　　）		
	設置希望日	年　月　日		
経費	機器設置費	□校費　□科学研究費　□その他		
	予算執行責任者確認欄	印		

機 器 構 成 等 説 明 書

機器構成（品名、メーカー名、型式名等）

機器構成図

機器購入、賃貸の別

☐ 購入　☐ 賃貸　☐ その他

備　　考

○ 各種パソコン用端末エミュレータプログラム

ソフト名	特徴	適用パソコン	入手方法	参考文献
ASTER	画面編集機能、漢字機能、カラーグラフィックス機能、ファイル転送機能等の豊富な機能を持っていて端末の設定はメニュー形式で指定できる。 メモリが256Kバイト以上必要。全機能を使用する場合には640Kバイト必要。	PC9801シリーズ（PC9801,XA,LTを除く） EPSON	本センター 共同利用掛	ASTER利用の手引
ETOS52G0	ACOS標準のスクリーンエディタ、日本語エディタEGFグラフィックス機能及びファイル転送機能（FTRAN）を持ったターミナルソフトウェア。 メモリが512Kバイト必要。	PC9801シリーズ（PC9801,XA,LTを除く） EPSON	本センター 共同利用掛	PC-9800シリーズ ETOS52Gエミュレータ ユーザマニュアル
VT100エミュレータ	DEC社のVT100のターミナルエミュレータで主にUNIXシステムを端末で使用する場合に、日本語、ファイル転送、ローカルコマンド処理等の機能を利用することができるターミナルソフトウェア。 MS.DOS 2.1以上に限る。	EPSON PC9801シリーズ	本センター 共同利用掛	VT100エミュレータ使用法
HTERM	ANSI及びVT220の拡張エスケープ・シーケンスのサブセット、セットアップメニュー、Kermitファイル転送機能やEMACS・Vi等の機能が利用できるターミナルソフトウェア。	PC9801シリーズ IBM-PC AX EPSON	本センター 共同利用掛	htermターミナルエミュレータ説明書
ETERM	IBM互換のメインフレーム，UNIX（EMACSやViエディット）及び全二重のパソコン通信ホストを対象とした端末化ソフトウェア（PC9801用）であり、ASPEN・PFDのサポート、テクトロ型グラフィックのサポート、ファイル転送機能、パソコン通信用アップロード、子プロセスによるKermitによるファイル送受信を行うEkermitを添付等の機能を持ったターミナルソフトウェア。	PC9801シリーズ EPSON	本センター 共同利用掛	東大センターニュース Vol.21,No12 1989
PC8801用 インテリジェントエミュレータ	キャラクターディスプレイ・スクリーンエディット・ファイル転送・グラフィックディスプレイ・ハードコピー機能があり、BASIC語で作成されたターミナルソフト(注1)。	PC8801シリーズ		阪大センターニュース Vol.12 No.2 1982-8
PC8001用 インテリジェントエミュレータ LDTSS	キャラクター・スクリーンエディット・ファイル転送の機能があり、BASIC&機械語で作成されたターミナルソフト。	PC8001シリーズ	本センター 共同利用掛	阪大センターニュース Vol.11 No.4 1982-2

ソフト名	特徴	適用パソコン	入手方法	参考文献
ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄ端末ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ tss29a	Basic言語で作成されており、シンプルかつ、他の市販TSS端末にみられない最高の機能、操作性の良さを実現しているターミナルソフト(注1)。	日立ﾍﾞｰｼｯｸﾏｽﾀ 3 if800/10 PC8001(拡張ｲﾝﾀﾌｪｰｽ付)		東大ｾﾝﾀｰﾆｭｰｽ Vol.13,No.4,1981
ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄ端末ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ FM−8用	スクリーン機能、高速の双方向ファイル転送機能等を可能にしたターミナルソフト(注1)。	Micro-8		九大ｾﾝﾀｰﾆｭｰｽ Vol.15 No.5 1982
ｲﾝﾃﾘｼﾞｪﾝﾄ端末ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ IF800用	グラフィック出力機能等を持ったターミナルソフト(注1)。	IF800/20		東北大ｾﾝﾀｰﾆｭｰｽ Vol.14,No.3 1981.7

(注1)このターミナルソフトはBASIC言語で記述されてありソースプログラムは利用者が入力する必要がある。

○ 大阪大学大型計算機センター交換回線接続用モデム一覧

（1）単体型モデム

モデム名	MNP クラス	CCITT規格/通信速度			自動発呼コマンド			問い合せ先	価格（参考）
		V.22 1200	V.22 bis 2400	V.29 9600	AT	V.25 bis	独自		
KANAX1200L	−	○			○			関西電機	19,800
ACER MODEM2424	5	○	○		○			コア、シー・アンド・ビー	59,000
PM1200F	−	○			○			富士通	21,000
PM2400F	5	○	○		○				59,800
WORLDPORT 1200	−	○			○			シー・アンド・ビー	35,000
WORLDPORT 2400	−	○	○		○				59,800
SR120S	−	○			○		○	エプソン販売	29,800
SR-240AT	−	○	○		○				59,800
COMSTAR 1212AT	−	○			○	○		日本電気	21,000
COMSTARTZ 2424/4	4	○	○		○				38,800
COMSTARTZ 2424/5	5	○	○		○	○			44,800
MD1200AIII	−	○			○	○		立石電機 大阪大学生協	19,800
MD12FS	−	○			○				21,000
MD24FP4	4	○	○		○				39,800
MD2400B	4	○	○		○				49,800
MD2400F	5	○	○		○	○			59,800
MultiMOdemG9GH	6	○	○	○	○		○	コア	185,800
MultiMOdem224EHI	5	○	○		○				98,000
AX9624C	6	○	○	○	○		○	ヒューコム シー・アンド・ビー 丸菱エレクトロニクス データ・コントロールズ	189,000
AX2400C	5	○	○		○				140,000
AX2424C	5	○	○		○				130,000

（2）ボード型モデム（PC9801シリーズ）

モデム名	MNP クラス	CCITT規格/通信速度			自動発呼コマンド			問い合せ先	価格（参考）
		V.22 1200	V.22 bis 2400	V.29 9600	AT	V.25 bis	独自		
SR-120MC	−	○			○			エプソン販売	27,800
MD1200C	−	○			○	○		立石電機	29,800
KDM-3012P	−	○			○	○		関西電機	29,800
LCM9000	−	○			○			関東電子	32,800
MYLOOPER	−	○			○	○		サン電子	39,800

（3）モデム内蔵電話

モデム名	MNP クラス	CCITT規格/通信速度			自動発呼コマンド			問い合せ先	価格（参考）
		V.22 1200	V.22 bis 2400	V.29 9600	AT	V.25 bis	独自		
オキシステムホン	−	○	○		○			沖電気工業	128,000
TOSNET-MT2424A	−	○	○			○		東芝特機電子	198,000
TA2400F	−	○	○		○	○	○	富士通	228,000
HP240F	−	○	○			○	○	日立製作所	235,000
NP240F	−	○	○			○	○	日製産業情報機器	235,000

［連絡先電話番号一覧］

立石電機	06-282-2672	エプソン販売	06-365-5071
大阪大学生協	06-877-1211	沖電気工業	06-226-1321
関西電機	06-266-1168	日製産業情報機器	06-366-2635
関東電子	06-885-2651	日本電気	06-236-4641
コア	045-441-8611	日立製作所	06-261-1111
コネクト	03-294-8238	ヒューコム	06-376-3085
サン電子	0587-55-2201	富士通	06-344-1101
シー・アンド・ビー	045-402-7373	丸菱エレクトロニクス	03-341-2566
データコントロールズ	06-443-3260	東芝特機電子	06-252-3512

○ 漢字コードについて

システム / パラメータ	ACOS S2000	ワークステーション	
		SUN	EWS
$$$CON,TSS,,KNJ で接続した場合	ローマ字への切り換えは、esc (H ....旧ＪＩＳ	－－－－－－－	－－－－－
$$$CON,TSS,,NJS で接続した場合	ローマ字への切り換えは、esc (J ....新ＪＩＳ	－－－－－－－	－－－－－
ローマ字への切り換え	－－－－－－－－－	esc (J 又は、esc (B	esc (H 又は、esc (J
漢字への切り換え	（注）	esc $ B 又は、esc $ @	esc $ @ 又は、esc $ B
備　　考	－－－－－－－－－	esc (H は、junetでは使用不可	－－－－－－－

（注）　漢字コードは、JIS X0208(C6226)に従います。
esc $ @ は1978年版（旧JIS日本語漢字）、esc $ B は1983年版（新JIS日本語漢字）です。

○ 大阪大学大型計算機センター端末パラメーター一覧

	ACOS S2000	ワークステーション
通信速度(bps)	300,1200,2400,9600	1200,9600
FULL/HARF	H	F
エコーバック	有	無
E／O／NONE	EVEN	EVEN
文字コード	7bit	7bit
STOP,START bit	共 に 1bit	

○　ＴＳＳ端末の属性と機能について

無手順ＴＳＳ端末の接続時の属性は次のようになっています。

① $$$CON,TSS,,KTR 及び $$$CON,TSS,,FTR の属性は、$$$CON,TSS,,JIS又は ASC に包含されます。ファイル転送時に EOTコードで終了するようになっています。また、PTON FDD･READ FDDコマンドを使用して、ファイル転送を行っていたのを、 PTON PFT･READ PFTコマンドに変更になっています。

② 現在の無手順端末の属性と機能を次表に示します。

端末属性	機能	豊中地区	吹田地区
$$$CON,TSS,,JIS	JIS型端末、一括ファイル転送用。	○	○
$$$CON,TSS,,ASC	ASC型端末、一括ファイル転送用。	○	○
$$$CON,TSS,,KNJ	旧ＪＩＳ漢字型端末用。	○	○
$$$CON,TSS,,NJS	新ＪＩＳ漢字型端末用。	○	○
$$$CON,TSS,,EDP	N6950画面編集型端末用。	○	○
$$$CON,TSS,,GDP	N6920(PLOT10)型図形端末用。	○	○
$$$CON,TSS,,GDA	N6920(APL)型図形端末用。	○	○
$$$CON,TSS,,G6D	N6960型図形端末用	○	○
$$$CON,TSS,,G6A	N6960A図形型端末用。	○	○
$$$CON,TSS,,CRT	ディスプレイ型端末用。	○	○
$$$CON,TSS,,APL	APL型端末用。	○	○
$$$CON,TSS,,DEL	DEL コードを付加する。	○	×

この中で、吹田地区は吹田地区専用・交換回線、豊中地区は豊中地区専用・交換回線の意味。
又、○は使用可能･×は使用不可能を指す。

○　「ＡＳＴＥＲ」使用上の注意について

交換回線Ｖ２２、Ｖ２２ｂｉｓで使用する端末、又は、ポートセレクタ接続端末に於いて、「ＡＳＴＥＲ」使用の端末は CRで、2400BPS ,9600BPS等に接続しようとして、正常に接続できない場合が発生します。

センターシステムと接続する時は、必ず「ＡＳＴＥＲ」を起動した後、escキーを押し、通信回線のメニューを選択し、その中の［送信文字間隔］の値を０（標準値）を２．０に設定した後、ローカルコマンドでＩＮＳＴＡＬＬで再設定してください。又は、「ＡＳＴＥＲ」のローカルコマンド ^ASC で１文字入力モードにしてから使用してください。

（業務掛）